

令和元年度「沖縄力発見創造事業」
企業進出・事業連携プログラム 概要

日程 2月19日～2月21日

対象企業 沖縄の有する資源やバイオ分野の研究を活用したい企業
など(医療・創業・健康・食品・化粧品・環境・エネルギー等)
(計16社)

主な視察先 琉球大学(西原町)、沖縄ライフサイエンス研究センター
(うるま市)、沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター
(うるま市)、沖縄科学技術大学院大学(OIST)(恩納村)
など

※大学や研究機関などの視察、在沖企業や業界団体とのワーキング
ディナー、個別相談などを実施し、活発な情報交換が行われました。

内閣府は、沖縄が持つ魅力を本土
企業に理解してもらうとともに、沖縄
への進出や本土企業と在沖企業の事
業連携などに資することを目的とし
て、令和元年度「沖縄力発見創造事
業」企業進出・事業連携促進プログラ
ムを実施しました。



令和元年度「沖縄力発見創造事業」
企業進出・事業連携の
促進を目指して(バイオ関連分野)



沖縄ライフサイエンス研究センター



沖縄科学技術大学院大学(OIST)

参加者の声
(バイオ関連)

- 補助金制度が豊富で、新規事業化へのハードルが低いことを知った。(化粧品
関連)
- 未利用資源が豊富で、新たな健康食品等の開発の可能性を感じた。(食品・
化粧品関連)
- 地の利や最先端の研究機関等、想像以上の魅力があった。(医療関連)

財務部統括国有財産管理官

☎098-866-0097

財務部は、引き続き地域の要望把
握に努め、国有財産の有効活用に取り
組んでいきます。

東村多目的運動公園の整備・機能
強化は、第5次東村総合計画の重点
プロジェクトの一つとして位置づけられ
ています。国有地の活用により、県内
外の観光客も利用可能な施設整備が
なされ、スポーツイベント、合宿などの
拠点として交流人口の拡大を図ると
ともに、令和2年度の「奄美・琉球世
界自然遺産」の登録と連動した「観
光ビジターセンター」との相乗効果が
期待されています。

令和2年3月31日、東村から多目
的運動公園敷地として利用要望のあつ
た国有地(約二万六千平方メートル)
について、東村と売買契約を締結しま
した。



地域活性化に資する国有地の活用

観光ビジターセンター

多目的芝広場

陸上競技場



(多目的運動公園・完成イメージ図) 出典:東村